

六月徳島へ 公民館移動学習

去る六月二十三日梅雨の合間をぬって鳴門・脇町へ行ってきました。

大鳴門橋の橋桁に設置された四五〇mの遊歩道を散策し、四五m下の渦潮をガラス張りの床から見下ろして海の不思議を感じつくりと観察しました。渦は一、三kmの鳴門海峡を瀬戸内海側と、外海側に一、七mの落差が生じ、その時に発生するそうです。大潮の時には直径二十m位の大きさになるそうですが、今回はかわい渦しか見えませんでした。

この落差は鳴門海峡の北と南との潮の干満が六時間毎に一日四回発生することにより起こるそうです。又、東洋一の高さと言われる観光用エスカレーターでエスカヒルの展望台に上り、静かな瀬戸内海を走る船舶と遠くの島々を眺めゆったりとしたひとときを過ごしました。おいしい郷土料理の昼食の後、次の目的地脇町へとバスを走らせました。

脇町ではうだつの町並みを地元の観光のボランティアの案内で一時間三〇分ほど散策しました。うだつの町並みは江戸から明治にかけて藍で栄えた豪商の屋敷が立ち並びレトロな町です。「うだつ」とは隣家との境に壁面から突出して作られた袖壁で防火を兼ねています。豪華な鬼瓦をのせて家格を顕示する象徴としたようです。

現在この街並が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、老朽化したものが多いですが、勝手に改修することが出来ず、痛しかゆしとのこと。ボランティアの方の詳しい説明を聞いて改めてうだつの意味を勉強してきました。

予定の研修を終わり南国へと帰路につきましたが、参加された方も十分満足された研修旅行だったようです。予定通りの時間に岩村公民館に帰ってきました。

お疲れさまでした。私もうだつの上がらない家路へと帰宅しました。

岩村公民館長 寄稿



大鳴門橋をバックに全員集合